

各 位

平成19年4月27日
近畿日本ツーリスト株式会社
総務・広報部 担当：立花
(TEL：03 - 3257 - 1661)

旅行取扱状況の概観（平成19年3月分）

海外旅行の取扱額では、団体旅行は学生団体旅行が取り扱い好調を継続し前年実績を大きく上回ったが、一般団体が前年異常値の反動もあり前年実績を大幅に割り込んだため、合計では前年実績を下回る結果に終わった。企画旅行ではホリデイは前年実績を上回り、その他企画旅行も好調で、合計では6ヶ月連続の前年比プラスと堅調。個人旅行では個人需要を取り込み、前月に続いての前年比プラスと好調を継続した。海外旅行合計は、団体旅行の低調を企画・個人旅行がカバーし、前年比101.9%と11ヶ月連続の前年比プラス。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は一般団体の取り扱いが増加し、学生団体も取り扱い好調で、合計では前年実績を2桁増で上回り、前月に続いての前年比プラスと好調。企画旅行は、メイトは取り扱いが鈍化した前年実績を上回り、その他企画旅行も好調で、合計では3ヶ月連続の前年比プラス。個人旅行は、JR券、宿泊券の取扱いは伸び悩んだが、航空券、観光券、その他クーポンの好調により、合計では前年並み実績を確保し3ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。国内旅行は各商品が前年実績を超えたため、合計では前年比103.6%と前年を上回り3ヶ月連続の前年比プラス。

外国人旅行は個人旅行の取り扱いが好調を維持し、前年比104.6%と5ヶ月連続で前年実績をオーバーし堅調に推移した。

3月の総取扱額は、国内、海外ともに堅調で、前年比102.9%と3ヶ月連続の前年比プラス。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、前年のオリンピック取り扱いおよび前年大型団体の精算の期ズレによる異常値が影響し、大幅な前年実績割れとなった。学生団体は、修学旅行、研修旅行等の取り扱いが好調で大きく前年実績を上回った。団体の方面別取り扱いでは、韓国、台湾、ヨーロッパ、ハワイ、アメリカの取り扱いが目立った。

(2) 企画旅行

ホリデイは取扱額前年比105.0%、取扱人数前年比92.4%と、取扱人数では前年割れとなったが、取扱いは6ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。ホリデイの方面別取り扱いでは、中国、韓国、台湾、が目立った程度。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は取り扱い件数の増加、ならびにイベント関係の取り扱い好調もあって前年実績を超え、前月に続いての前年比プラスと好調であった。学生団体も、修学旅行および校外学習等の大幅な取扱増により、大きく前年実績を上回り、6ヶ月ぶりに前年比プラスとなった。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱額前年比102.5%、取扱人数前年比100.0%と前年実績を上回り3ヶ月連続の前年比プラスと堅調。商品別の状況は、関西地区商品が好調、沖縄および東京地区商品が前年を超えた程度であった。

(以 上)